

2023(令和5)年度 事業報告

(自・2023年4月1日 ～ 至・2024年3月31日)

自然災害と国際紛争がやまない日々ですが、2023年度も多くの方々のご協力とご支援で事業を進めることができました。国際情勢の不安定さは当財団の財政にも影響を与えかねませんが、2023年度に関しては大きな変動もなく過ごすことができました。

2023年度から、公益目的事業の実施方法を財団が直接主催するものと、共催・後援する事業への支援に分けて事業計画を立てました。共催・後援へ支援をする取り組みは初年度でしたので、これまでのつながりの深い、団体への働きかけをしながら、原則公募をする形で進めていきました。しかし、周知の仕方、事業内容の判断の仕方などいくつかの課題が残りました。

一方、財団の一般助成に対する周知度は高く、多くの応募があり、厳密な審査が行われました。

国際支援はカンボジア専門ソーシャルワーカー協会への支援が3年で終了しました。財団としても初めての支援の経験でしたが、一定の成果も見られ、今後の国際的な支援の在り方を考える良き経験であったと思われまます。

2024年1月1日の能登半島地震に対しては、現地と素早く連絡をとり、緊急支援を行いました。

財団の事業は各委員会の働きによって進められています。委員の皆様には事業推進のためにその専門性と、豊かなご経験からお力を頂き財団の活動を進めることができました。

I 公益目的事業

1. 社会福祉育成活動推進事業

◀ 財団が主催する公募事業 ▶

(1) 一般助成 (公益目的区分 **工**) 【助成総額 21,203千円】

比較的小規模な社会福祉法人、NPO法人、非営利任意団体等に公募によって1件あたり20万円を限度に什器、備品等へ資金助成する。

財団ホームページよりWEB申請にて受付。Q&Aを掲載し問い合わせの削減を図った。また、審査にかかる負担軽減のために申請開始日を例年より15日早めて審査期間を長くした。審査内容を6項目から3項目にまとめ、提出書類については確認しやすいよう審査委員がWEB上で閲覧できるようにした。本事業への期待は大きく社会福祉施設等多方面からの応募があった。

公募期間： 2023年9月1日～11月1日

応募件数： 177件

採択件数： 123件(社福17、特非53、一社17、公社2、任意団体28、他6)の助成先はホームページに掲載

助成総額： 21,202,745 円

選考会： 2023年12月14日

選考委員： 坂岡隆司、高橋みちる、高原敏夫、高山和久、藤沼真由美

委員会： 2023年5月26日 12月14日

(2) ペイン記念奨学金 (公益目的区分 **エ**)

【助成総額 4,965千円】

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的としての給付型奨学金。

大学院課程（博士前期課程・博士後期課程）の学生に1年間100万円を限度として授業料相当額及び10万円の研究補助費を給付する。給付期間は2年。

対象： 指定19大学 福祉系大学院生

公募期間： 2023年4月1日～5月15日

選考： 1次（書類審査） 2次（面接）

応募人数： 6名 決定人数： 4名

給付人数： 8名（内2年目4名）

選考会： 2023年6月29日 面接6名

成果報告： 2024年2月8日

選考委員： 李善恵、柴田謙治、細井勇、河合裕志、遠藤久江

委員会： 2023年6月29日、2024年2月8日

(3) 社会福祉啓発事業 ((公益事業区分 **ウ**))

● 愛恵エッセイ賞募集

【事業総額 1,947千円】

一般社会の福祉に対する意識やさまざまな体験などを募集し福祉意識の啓発事業として実施している。公益財団法人東京YMCAとの共催事業。原則として東京YMCAのホームページのサイトから投稿する。学生の部は2023年度より学校単位ではなく個人からの応募に限ることとした。

テーマ： 「豊かな福祉社会を創るために」

副題： 「わかりあえたらなあ」

公募期間： 2023年9月15日～11月10日

応募方法： 公益財団法人東京YMCAのホームページへ投稿

応募数： 一般 108名、学生 9名、専門職 7名、外国籍 4名 計 124名

選考委員： 八尾勝、河合裕志、西崎攻司、今野武美

委員会： 2023年7月4日

選考会： 2024年1月22日

表彰式： 2024年3月9日 北とぴあ会議室にてZoomとのハイブリッドで実施

受賞作品集配布先：400部印刷。応募者、愛恵財団理事、監事、評議員、東京YMCA、その他に配付

愛恵エッセイ賞表彰結果

一般の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	3名	佳作賞	3名
学生の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	3名	佳作賞	2名
専門職の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	1名	佳作賞	1名
外国籍の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	1名	佳作賞	1名

● 公開講座

【 事業総額 551千円 】

日時：2023年10月7日（土）14:00～15:30

場所：東京YWCAカフマンホール

講師：香山リカ氏

テーマ：「もとめない生き方 一心もカラダもかろやかに柔らかく暮らしたい」

参加者：98名

(4) 国際支援（公益目的区分 Ⅰ）

【 助成総額 6,675千円 】

カンボジア 専門ソーシャルワーカー協会への支援

【 3年目 最終年 3,000千円 】

【成果】

- ・カンボジアソーシャルワーカー協会（APSWC）の体制整備（事務局機能の整備、事務所）
- ・APSWCの会長 Sambath Soeurng が社会福祉局（MoSVY）の会議に招かれカンボジアのソーシャルワーカーの資格化に提言した。
- ・ソーシャルワーカーの人材育成のワークショップ（対面とオンラインで）開催し、100名近くの参加者を得た。
- ・ソーシャルワーカーの倫理綱領・行動規範作成に努めた。
- ・国際的なネットワークを広げ、IFSW への加盟申請を行い2024年4月承認された。ASEANのソーシャルワークコンソーシアム（ベトナム）に参加した。
- ・国内外のソーシャルワーク関連団体（ユニセフ他）とのネットワーク形成。
- ・会員数は増加傾向にある。

以上の成果を得たのでカンボジア支援は終了した。

バングラデッシュ スクールソーシャルワーク活動の支援

【 2年目 3,675千円 】

【成果】

- ・スクールソーシャルワーカーの育成を行い、選定された10校の中学・高校のうち、2校で実際に生徒にカウンセリングを提供する事ができた。
- ・引き続き、スクールソーシャルワーカーの研修プログラムを提供した。

バングラデッシュ視察：2023年5月9日～16日

財団からの支援によるプロジェクトの進捗状況や今後の見通し、課題を確認するだけでなく、団体と財団の関係構築をより密接に行い、プロジェクトの遂行や更なる発展を期待することを目的とし、木村真理子委員、野田有紀委員、方こすも委員が現地を視察した。

報告書を作成。

国際支援企画委員：平田美智子、立脇恵子、野田有紀、方こすも、木村真理子、高原敏夫
委員会開催：2023年7月1日、10月9日、2024年2月22日

- (5) 2024年1月、令和6年能登半島地震 緊急支援 【助成金額 2,800千円】
石川県児童養護施設協議会からの申請により、能登半島穴水町にある「あすなる学園」に対し、被災した施設の運営継続のため緊急支援金を助成した。

《 財団が共催、後援する公募事業 》

本事業は公益法人、NPO 法人等 非営利法人が実施しようとする以下の公益事業、社会福祉活動を公募し共催、後援する。

用意された実行計画が財団の定款にある目的、事業に則していることにより支援する。

(1) 研修（海外、国内）（公益目的区分 **ア**）

社会福祉の向上、発展のため協業する団体や異業種間の組織、法人が人材の育成、制度の在り方等の学びを海外に求めるとき、また国内において同様の研修を計画・実施することを支援する。

◆海外関連研修後援

決定団体

1. 日本キリスト教児童福祉連盟 【助成金額 5,000千円】
法人型ファミリーホーム研究会
ドイツ海外研修『ドイツにおけるソーシャル・ペダゴジーの理論と実践を学ぶー福祉哲学を基盤に』
実施日 2023年 9月12日～9月23日
参加者 10人
主な研修先 ドイツ ケルン市児童福祉施設、デューレン郡少年局
2. 社会福祉法人横須賀キリスト教社会館 【助成金額 1,500千円】
韓国・仁済大学社会福祉学学生の受け入れ実習、研修
実施日 2024年 1月10日～2月7日
受け入れ人数 2人
高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、認定こども園等の施設見学及び研修
3. 特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金 【助成金額 520千円】
バングラデシュへの教育支援における人材育成事業
現地パートナー団体 BDP (Basic Development Partners) が運営する BDP スクールの教員 (123名) 研修再開に向けて BDP の職員 2名を日本に招き、研修実施期間や他ドナーとの協議を行った。

◆国内研修後援

決定団体

社会福祉法人横須賀キリスト教社会館 【助成金額 400千円】

法人内の人材育成研修

横須賀キリスト教社会館の福祉思想を継承し、実践に結び付けることができる職員を養成し、キリスト教社会福祉と地域組織化運動の手法を普遍化し、他施設へのモデル事業を提示する。

2024年2月13日 講師：市川一宏先生 受講者10名

2024年3月4日 講師：滝口真先生 受講者12名

(2) 講座、講習、セミナー等の開催 (公益目的区分 イ)

社会福祉の担い手には、常に新しい知識及び技術を学習し社会福祉活動に寄与することが期待されるので、求める知識等の習得の機会が得られるよう、企画、開催・実施を支援する。

決定団体：

1 公益財団法人東京YWCA板橋センター 【助成金額 500千円】

「読むことが困難な人々への支援」講座への後援

音訳講座 2023年9月～11月 全9回(参加者16名)

マルチメディアデイジー製作講習会全 12月14, 15日 (参加者10名)

2. NPO法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

【助成金額 500千円】

講演会(2回)開催への後援

テーマ『住み慣れた場所で自分らしく「幸せに」暮らしていくために』

① 2023年12月16日 講師：奥田真美氏 参加者：24名

「その人(自分)らしさが輝く支援」

～「聴く」から始める～「認め合う関係づくり」～ 人生紙芝居

② 2024年3月16日 講師：小澤竹俊氏 参加者：73名

「死を前にした人にあなたは何かができますか？」

～ユニバーサル・ホスピスマインドをすべての人生のそばに～

3. 日本地域福祉施設協議会 【助成金額 500千円】

研修会(名古屋大会)の開催への後援

日時：2024年2月23日～24日

場所：名古屋キリスト教社会館

1日目 基調講演 滝口真氏「福祉における文化という意味、価値を捉えなおす」
分科会

2日目 トークセッション「福祉実践を通じて育まれる豊かさ」

語り場の広場 「福祉における文化を、実践を交えて語り合おう」

共催・後援公募事業審査委員：新田和子、八尾勝、百瀬圭吾
委員会：2023年6月12日、7月3日、9月11日、11月13日

II 収益事業

財団が保有する「愛恵ビル」は、財団の公益事業推進の拠点として使用されている他、所有スペースを収益事業として貸与している。(収益の50%以上を公益事業に振替える。)

2023年度の 事業収入 7,156千円

・テナント ESS株式会社 3室(10B、20B、40A) 良公監査法人 1室(20A)
NPO法人紡希の杜 1室(30B) 計5室

- ・時間貸しユーザーについては事務局内にユーザー名、日時、目的等を公開している。
- ・収益の全額を公益事業に繰り入れた。

III 法人管理

1. 評議員会・理事会の開催

評議員会の開催

定時評議員会

開催日時： 2023年6月15日
審議及び決議事項： 報告事項 2022年度 事業報告 承認の件
決議事項 2022年度 収支決算案 承認の件

臨時評議員会

開催日時： 2024年3月21日 書面決議
審議及び決議事項： 第1号議案 2024年度 事業計画(案) 承認の件
第2号議案 2024年度 収支予算(案) 承認の件

理事会の開催

第1回定時理事会

開催日時： 2023年5月23日(火) 14:00～16:00
審議及び決議事項： 第1号議案 2022年度 事業報告(案) 承認の件
第2号議案 2022年度 決算報告(案) 承認の件
監事監査報告の件
第3号議案 委員会委員変更及び追加の件
第4号議案 2023年度定時評議員会開催に関する件

第1回臨時理事会

開催日時： 2023年9月7日（木） 14:00～16:00
審議及び決議事項： 第1号議案 基本財産の買替え及び再投資の報告及び承認の件
第2号議案 次期（2024～2026年度）役員選出スケジュールの件

第2回臨時理事会

開催日時： 2024年1月18日（木） 14:00～16:00
審議及び決議事項： 第1号議案 2024年度の事業計画案・予算案（概要）の件
第2号議案 次期役員候補者推薦の件
第3号議案 財産運用規程変更の件
第4号議案 臨時評議員会開催の件

第2回定時理事会

開催日時： 2024年3月7日（木） 14:00～16:00
審議及び決議事項： 第1号議案 2024年度 事業計画（案）承認の件
第2号議案 2024年度 収支予算（案）承認の件
第3号議案 財産運用規程改定（案）承認の件
第4号議案 次期役員候補者推薦承認の件
第5号議案 事務局長設置の件

2. 役員

2024年3月31日現在の役員： 理事8人 監事2人

代表理事： 遠藤久江（非常勤）

業務執行理事： 杉浦孝夫（常勤）

理事（非常勤）： 河合裕志、木村真理子、昆百合子、田中弘、高原敏夫、西崎攻司

監事（非常勤）： 廣田伊志子、西田俊二

評議員

2024年3月31日現在の評議員（非常勤） 8人

上田健、内田望、岸川洋治、坂本正路、助川征雄、塚越敏夫、新田和子、野原健治

3. 広報活動

愛恵だより第12号（2023年7月）、第13号発行（2024年1月）

編集委員：西崎攻司、田中 弘

4. 事務局

常務理事（事務局長） 杉浦孝夫

職員 2人 久保悦子、佐賀ひろ美

パート 1人 深谷真理子

契約職員 2人 契約終了

5. 事務局会議

2023年4月11日、5月10日、6月14日、7月24日、8月9日、9月14日
10月11日、11月15日、12月13日、2024年1月11日、2月15日、3月14日

6. 届出、変更、登記

内閣府	2023年	6月30日	2022年度事業報告書、決算報告書
	2024年	3月30日	2024年度事業計画書

7. 財産運用

財団の運営は主に基本財産運用益収入によっている。

金利改善（2%→4%）により7,000千円の対予算増収を得た。また早期償還により1.5億円の外貨（ドル）建て債権を購入。2024年度の収益に貢献が期待できる。

財産運用委員：田中弘、後藤幹雄

委員会開催 2023年6月6日、7月10日、8月22日、9月5日、9月19日、11月27日、
2024年1月15日、1月29日、2月7日、2月20日、3月21日、3月26日

8. 総務事項

- ・ 会計業務の一部を「やまなみ税理士法人」に委託。
- ・ 公益目的事業の区分計画に関し、速やかな周知のためホームページを用い、広報活動を積極的に行う。また適時更新し最新情報をもつての財団の活動状況を伝える。
- ・ 財産運用による運用資金調達は安全と確実を旨とし、適宜財産運用委員会を開催し情報を理事会と共有する。
- ・ 消費税納税 収益事業へ消費課税（2割特例）により納税。

以上